

あまでうす

『趣味の一環』

数ある趣味のひとつとして書を読む、つまり読書がある。二宮 金次郎（後の二宮尊徳、昭和初期に発行された壺円札の肖像画）は、十四の頃には朝早くから薪を取りに行っていた。それを売りにゆく間にあらゆる本を読んでいたという。その証に、金次郎の像は薪を背負い本を読んでいる姿である。読書には、三つの機能があると言われている。第一は、先

第三は、書く力を向上させてくれる。自分自身を振り返ってみると、小学校から作文を書くのが、登校拒否をしたくなるほどしこたま嫌いだ。当時は、文章を構成する力がまったくなかったといえる。それらしきことを、先生が通知表の国語欄に書いてあった記憶がうっすらとある。夏休みともなれば、必ず読書感想文を書くという宿題があった。また、国語の授業では、与えられた課題で作文を書きなさいとか、今日は自由な課題で書きなさいと、精神的に悩まされることしばしばあった。要は考えをまとめる能力がないという小学生だった。言う

い換えれば、材料を集めてアウトラインを考え、起承転結が出来ない。小説でいうなら、プロット（あらすじ）も書けないということだ。（そういうえば、小説を書くとき、一度もプロットを書いたことがない。閃きでいつも物語を書いていく）社会に出て働くようになってから、少しづつ本を読む機会が増え、どんな構成で書かれているのか、段階的に分かるようになった。例えば、この小説の構成は、音楽でいうところのソナタ形式で書かれているとか。この頃には、クラシックが大好きであったため、三つの要素である提示部、展開部、再現

部そしてコーダ。これを物語に当てはめてみると、導入部、展開部、結論という三つの要素で構成されている。そんな発見も手伝って、今でも毎月『風地蔵新聞』に記事を書かせてもらっている。読書法のひとつに、「濫読（らんどく）をせよ」という方法がある。ある作家が言うには、濫読のいいところは、書物の方で自分の資質を教えてくれる。自分がどの方向に進んだらいいのかというのは、多くの書物を読まなければ解からない。その中でも歴史を読むべきである。と言っている。また、本はベストセラーの中から読め

ともいわれる。そこに読書たる所以があるのではないだろうか。現代では読書離れ、活字離れが進んでいる。電子本で手軽に読めちゃう世の中であるが、最近の図書館は変わってきている。吹き抜けのある大きな空間を利用した、木の香り漂う図書館や、市民活動交流のできる複合施設。また館内にカフェ・スペースを作り、ゆったりと寛ぎながら本が読める図書館。岐阜県内では、五回ほど行っている、ぎふメディアアコスモスなどがそうである。ここには、小生が書いて出版し寄贈した、小説とエッセイが置いてあります。

風地蔵新聞

第192号 題字 岩瀬桃谷 発行 編集 風地蔵 白石 美帆 千503-0922 岐阜県大垣市馬場町85 ご感想・エッセイ・俳句・お祝い歌など短歌待ちります

還暦旅行 鎌倉編

鎌澤 宣子

朝六時起床！お天気もよく結婚式日和。七時半頃の平塚駅発の藤沢行き。ここで乗り換えて鎌倉へ行くので出かける準備をしてホテルのモーニングサービスを食べながら朝食をいただきます。初めてお会いするパソさんと美紀さんの息子さんとお嫁さん少しドキドキしながら、鶴岡会館に向かいます。電車の中でマナーモードにしていたのがつかず社長からメールが入っていたのを気がついて

たのが会館ついてすぐで、余裕で早く着いたと思っていたのであわてます。すぐにフロントに確認をとって、社長のまっ控え室に向かいます。中に入るとまだ来ておらずに着付けが始めるように感じます。準備をしながら社長が髪を結んでもらって登場！私のイメージと違って一瞬声が出ませんでした。気が取り直して長帳場で着物を着て歩いたりもすると言う事で崩れしないように、足裁きがよいうようにと考えて、スッキリ見える様に

と思っかけて着付けをしていきましました。それと、もたもたしているのと着付けされる方も疲れてしまいますので、手早くするようこの心掛けました。代お世話になった先生が心がけていらつしゃったことでした。言葉にはされませんが、姿勢でそう感じている姿も気がついて私に私もお終わり、無事着付けも終わり、隆男さんの待つ控え室に社長と降りていきましました。いくと隆男さんがおちつきなくうろろろして、思わず心の中でつぶやきます。「社長がい

ないと居場所がなく落ち着かないんだな」と。そのあとパソさんと合流してご挨拶をします。祝儀袋を忘れたので、息子に後で届けてもらうようにしてあげたので今は渡せないなと思、後で社長に託しておこうと思していました。さあ、よいよ挙式です。鶴岡八幡宮までは、西側か車道の真ん中に少し高くなつた参道を歩いて行きます。この暑い中を皆で歩いていくと観光客や、道行く人たちに観てもらってこれはとてもおごりかかな気持ちになります。二十分行きます。そして、たん控えの間に入り、そこで親族のご挨拶がありそこにも参列

させていたでいて、いいのかな私がここにいてと思いきましました。落ちつきませんでした。そのあと、又参道に戻り神殿まで歩きます。神殿も四方八方から観られるようになっていて、親族だけでなく周りの観光客の皆さんにも祝福されての挙式でした。お天気にも本当に恵まれてよかったです。皆さんと一緒に、皆様と写真にまでも入れてもらえ分になりまし。私はここで社長とわかれて息子と合流して、鎌倉観光に出発します。念願の江ノ電に乗り、江ノ島まで行ってきます。この続きは次回お楽しみに。

バス遠足

佐藤 凱翔

9月9日、らんちゃん3回目の誕生日。らんちゃんが生まれもう3年経った。2、3歳の間に沢山成長したららんちゃん。まず言葉。保育園での出来事を文にして話すらんちゃん。単語から文に。らんちゃん。の口癖は「あのね〜」。例えば、

「パパあのね〜トイレ！」何かを言うときは必ず「あのね〜」のらんちゃん。保育園の友達もおそらく「あのね〜」をつかっているのだろう。みんなでたくさん「あのね〜」をいって、のね〜とわいわいする。想像するとなんだかおもしろい。らんちゃんも言葉だけじゃなく歌も歌える。今のはやりは、3びきの子ぶたの歌とパプリカの歌。いつも間違いながらでも一生懸命歌うらんちゃん。それを見たあおちゃんも歌う。あおちゃんも歌う。らんちゃんを抱っこしようとおおちゃんも抱っこしよう。抱っこする人が2人抱っこするようになつた。いつもらんちゃんの後をトコトコおいかけて行くあおちゃん。ちゃんと姉妹している。あおちゃんが泣いていると「おいでー」もしてくるらんちゃん。たまにケンカもするけど仲良しの2人。ちよこつとおお

ちゃんのお口癖もご紹介。あおちゃんの口癖はなんとなんと。「行く行く！」「うーわ！」「ぶつぶつぶ！」3つもある。あおちゃんも、歌も覚えた。「たんっぽっぽひーらいたーまっつきいろにひーらいた」と歌う。すくすくおだやかに育ってくれる2人の子。パパもママもじいちゃんもばあちゃんも皆一緒に育つ。そんな3歳のらん

んちゃんと一緒に行く保育園のバス遠足。パパも休みを取りママらんちゃんと一緒にに行く。今回は、熊本市動物園。天気もよくまだ真夏の暑さが残っている。早起きしてお弁当作り。サンドウィッチにカツのミニロール、おにぎり。5時から作つたはずの弁当。なんだかんだぎりぎりの時間に完成。パパはおにぎり担当。出来

る。みな愛を求めているはずなのに、どこで大きく間違っているのか。いま、絵手紙の先生お二人に、それぞれの絵手紙ボランティアにたまに連れて行ってもらっている。昨日は、福岡市内の公立中学の全クラスへ、絵手紙の授業を依頼されて行ってきた。総勢30名ほどの絵手紙の先生が各クラスに振り分けられ、私は1年3組担当で素晴らしい時間を体感させてもらった。どの年代でも通じるものがある。ある日のデイサービスで、絵手紙をささなかった、近くにいた利用者さんが、ずっと「さみしいーさみしいー」を連発されていたのがふと浮かんだ。

川風

しらしみほ

黒い猿の群れ。しかもオリなんてない。1.5メートル程のぼたぼた水が溜めてあつて周りを囲んでいるだけ。よく逃げないよ。お弁当。らんちゃんも夢中で見てる。保育園の子みんなガン見していた。さてお先にお昼ご飯。お弁当。らんちゃんのお友達かなちゃん、あいき君と一緒に食べる。皆それぞれデザートを分け合っていた。め色々持ってきている。「どーぞ」「あーと」を繰り返して皆で食べる。これが子どもたちには嬉しいのだらう。ごはんの後には乗り物！遊園地のように沢山の乗り物がある。見つけたときには動物そっこのけ。電車とモノレールに乗ったららんちゃん。電車とモノレールに乗ればある程度の動物が見れちゃう！「あれもみた！これも見たい！」と見えたことが嬉しい。次は歩いて見に行くよ！キリンには5本の角があるそう。それを確かめに見に行く。ゆっくりあるくみんな。らんちゃんも早くキリンがみたい！そこそこかなちゃんの

「どこいったのー。おいていかないでー。さみしいーさみしいー」3歩だけお茶をとり家族と同じ屋根の下にいても、学校や保育園で同じ空間にいても、心が離れていると「さみしいーさみしいー」と言わないうだけで、叫んでいるのでは無いだろうか。たまには 声に出してみよう。すぐそばにいる人に「さみしい」と。

あおちゃんも歌う。らんちゃんを抱っこしようとおおちゃんも抱っこしよう。抱っこする人が2人抱っこするようになつた。いつもらんちゃんの後をトコトコおいかけて行くあおちゃん。ちゃんと姉妹している。あおちゃんが泣いていると「おいでー」もしてくるらんちゃん。たまにケンカもするけど仲良しの2人。ちよこつとおお

ちゃんのお口癖もご紹介。あおちゃんの口癖はなんとなんと。「行く行く！」「うーわ！」「ぶつぶつぶ！」3つもある。あおちゃんも、歌も覚えた。「たんっぽっぽひーらいたーまっつきいろにひーらいた」と歌う。すくすくおだやかに育ってくれる2人の子。パパもママもじいちゃんもばあちゃんも皆一緒に育つ。そんな3歳のらん

んちゃんと一緒に行く保育園のバス遠足。パパも休みを取りママらんちゃんと一緒にに行く。今回は、熊本市動物園。天気もよくまだ真夏の暑さが残っている。早起きしてお弁当作り。サンドウィッチにカツのミニロール、おにぎり。5時から作つたはずの弁当。なんだかんだぎりぎりの時間に完成。パパはおにぎり担当。出来

る。みな愛を求めているはずなのに、どこで大きく間違っているのか。いま、絵手紙の先生お二人に、それぞれの絵手紙ボランティアにたまに連れて行ってもらっている。昨日は、福岡市内の公立中学の全クラスへ、絵手紙の授業を依頼されて行ってきた。総勢30名ほどの絵手紙の先生が各クラスに振り分けられ、私は1年3組担当で素晴らしい時間を体感させてもらった。どの年代でも通じるものがある。ある日のデイサービスで、絵手紙をささなかった、近くにいた利用者さんが、ずっと「さみしいーさみしいー」を連発されていたのがふと浮かんだ。

「どこいったのー。おいていかないでー。さみしいーさみしいー」3歩だけお茶をとり家族と同じ屋根の下にいても、学校や保育園で同じ空間にいても、心が離れていると「さみしいーさみしいー」と言わないうだけで、叫んでいるのでは無いだろうか。たまには 声に出してみよう。すぐそばにいる人に「さみしい」と。



お便りします

風地蔵新聞ありが

とうございました。大橋さんは台風10号で停電3時間を経験された様子を、か

文が出来るの？あーおもしろかった！

鎌澤さん、大橋さんこんにちは。毎月新聞を読ませて頂き

素晴らしいの一言です。これからも読者の

何時も新聞ありがとうございます。何時も新聞ありがとうございます。

ちよつと立ち話

席にちよつと読めるスタッフの書かれた新聞があるとほつ

としますね。(男性の方 お客様)新聞前は、読みに

今は亡き祖父母を私も思い出の場所に

園)は熱気がすごいから、帰って

去年、本当に大変な台風でした。今年

気分は旅行

大橋 美紀

ある日の夜、夕食を終え片付けていると母から電話がかか

私の母はいつもこうだった。いつ、だれがの順序がない。

ことでした。

9月の日曜日お店の休みの日にと計画を立てました。

電車の時間まで30分でしたので飲み終わると駅に向かい指

定席もあつたので

が岐阜発なので自由席で行くことにしま

「フライト・オブ・ドリームズ」はボー

アトルの雰囲気いっ

ぱいの飲食店街。少し暗めの屋内に又、

飛行機の離陸を見ながらゆつくり食事が

を味わえました。

まだ見るところがいっぱい。そしてダンス

帰りは前指定席のミュースカイでゆつたりと

